一括申請及び学外者申請版

2022. 6. 20 版
京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院
医の倫理委員会

2022 年 11 月 10 日　第 1.3 版
2022 年 11 月 13 日　第 1.4 版
2022 年 11 月 16 日　第 1.4.2 版
2023 年 4 月 27 日　第 2.0 版
2023 年 12 月 14 日　第 2.1 版
2025 年 1 月 31 日　第 2.2 版
2025 年 4 月 3 日　第 3.0 版
2025 年 11 月 18 日　第 3.1 版
2025 年 12 月 16 日　第 3.2 版

情報公開文書

1. 研究の名称

シュニッツラー症候群の病態解明を目指す探索的研究

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究代表者
神戸直智・京都大学・准教授

研究分担者
吉藤　元・京都大学・准教授
城　友泰・京都大学・助教
井澤和司・京都大学・講師
中溝　聡・京都大学・特定准教授
斎藤　潤・京都大学・教授
松田智子・京都大学・研究員（非常勤）

1） 他の研究機関と共同して研究を実施する場合は、共同研究機関の名称、研究責任者の所属・職位・氏名

金澤伸雄・兵庫医科大学・主任教授
山本真有子・高知大学・助教
河原由恵・けいゆう病院・部長
加々美新一郎・国保旭中央病院・部長
下山久美子・浜松医科大学・助教
清水　晶・金沢医科大学・教授
森脇真一・大阪医科薬科大学・教授
廣瀬晃一・国際福祉医療大学成田病院・アレルギー・膠原病内科・教授
徳増一樹・岡山大学・総合診療科・講師
朝比奈昭彦・東京慈恵会医科大学・教授
富田央澄・山梨大学・助教
藤野貴大・京都府立医科大学・助教
八木洋輔・大阪赤十字病院・部長
竹内洋平・さぬき市民病院・医師

2） 研究機関以外において、既存試料・情報の提供を行う者が含まれる場合は、当該者の氏名、当該者の所属する機関の名称

片桐一元・獨協医科大学埼玉医療センター
赤木貴彦・福山市民病院
長野 徹・神戸市立医療センター中央市民病院

4. 研究の目的・意義

シュニッツラー症候群の病態を明らかにするため、国内症例から診断あるいは既存治療の効果判定等のために血液が採取される際に、血液計 14 mL を追加で採取します。また、骨髄検体、臓器生検組織を用いて、体細胞モザイク変異を考慮したエクソーム解析、局所浸潤細胞に発現する遺伝子、蛋白の検討、血漿中のバイオマーカー（蛋白）の測定を行います。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日～2030 年 3 月末日

6. 対象となる試料・情報の取得期間

臨床的にシュニッツラー症候群と診断された患者さん（下記の登録期間よりも前にシュニッツラー症候群と臨床診断された患者さんを含みます）と、患者さんと年齢や性別がほぼ一致する対照群。
研究対象者登録期間：
研究機関の長の実施許可日～2028 年 7 月末日

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

特定の個人を直ちに判別できる情報（氏名、住所、診療録番号等）は利用せず、研究対象者とは無関係の番号（研究対象者識別コード）を付して仮名化します。対応表は主治医が管理します。研究対象者識別コードリストおよび仮名化された要配慮個人情報は京大皮膚科、あるいはそれぞれの施設で共同研究者が保管します。研究終了後は、紙は焼却、WEB ベースのデータは消去により廃棄処分されます。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

特定の個人を直ちに判別できる情報（氏名、住所、診療録番号等）は利用せず、各機関/病院の患者主治医または研究者が研究対象者とは無関係の番号（研究対象者識別コード）を付して仮名化します。対応表は各施設の患者主治医または研究者が管理します。研究対象者識別コードリストおよび仮名化された要配慮個人情報は京大皮膚科、共同研究者が保管します。

仮名化された検体として、末梢血から分離した白血球から genomic DNA を分離し、エクソーム解析を行います。また、分離した白血球から、一細胞 RNA 解析を行います。生検組織からは、空間トランスクリプトーム解析を行います。次世代シーケンスは外部委託先として、調整した DNA を送付しアゼンタ株式会社（https://www.genewiz.com/ja-JP）またはマクロジェン・ジャパン（https://www.macrogen-japan.co.jp/）、京都大学医学研究科腫瘍生物学、小川誠司へ解析を依頼します。

一細胞 RNA シークエンス解析および空間トランスクリプトーム解析は外部委託先として大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験センターゲノム解析室、山崎　晶へ、末梢血から分離した白血球あるいは生検組織を送付し、解析を依頼します。これら遺伝子解析の結果を参考に、発現する蛋白の解析を免疫染色で検討します。

エピゲノムおよび発現解析の一部は、京都大学 iPS 細胞研究所にて行います。なお、本研究では iPS 細胞の作成は予定していません。

現在通院中でない患者の既存資料についても、本人を同定できる情報を除いた病歴、検査値、ホルマリン固定ブロックとして保存されている生検組織資料、凍結血液試料等を、活用させて頂きます。

診療情報として、病歴、各種検査値（WBC、好中球数、CRP、SAA（血清アミロイド A）、ALP、血清 IgM、IgG、および血清蛋白遊離軽鎖（free light chain））を用います。

収集した情報および検査結果、本研究での検討結果は、難病プラットフォーム（https://www.raddarj.org/）に登録します（レジストリ URL: https://www.jsiad.org/pidj/）。

9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

上記 3.を参照

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

椛島健治・京都大学・教授
京都大学以外の施設においては、各研究機関で使用する情報公開文書に記載します。

11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

随時、同意を撤回できます。ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

13. 研究資金・利益相反

1） 研究資金の種類および提供者

厚生労働科学研究費補助金（難治性患政策研究事業）「自己炎症性疾患とその類縁疾患における、移行期医療を含めた診療体制整備、患者登録推進、全国疫学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究」（研究代表者：西小森隆太・久留米大学）に分担研究者として参画している研究費および教室の運営費交付金により実施されます。特定の企業からの資金提供は受けていません。

2） 提供者と研究者との関係

資金提供をするものと研究者は独立しており、企画、運営、解析、論文執筆には資金提供をするAMED は関与しません。

3） 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

14. 研究対象者等からの相談への対応

1） 研究課題ごとの相談窓口

研究室・担当者・連絡方法を併記
京都大学大学院医学研究科皮膚科学・神戸直智
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
E-mail: nkambe@kuhp.kyoto-u.ac.jp
および
京都大学医学部附属病院臨床研究相談窓口
E-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2） 各研究機関における相談等窓口

各研究機関で使用する説明文書に記載

15. 利用または提供を開始する予定日

研究期間の実施許可日以降